

委員意見の反映等について

平成30年9月11日
第3回総合計画審議会
資料No.1

No.	氏名	分野	意見の内容	対応
1	杉本委員	市民が 主役の まちづ くり	【市-1-1 人権尊重・非核平和友好の推進】 2 非核平和に関する意識啓発の推進 ・平和に関して、戦争の語り手が減っているが、DVDに残して伝承してはどうか。	・語り手（5名）のDVDを製作し、平和展での放映や学校への貸出等を行っている。意見を踏まえ、一層の活用を図る。
2	中條委員	市民が 主役の まちづ くり	【市-1-2 男女共同参画社会の形成】 ・女性が活躍すれば地域が活性化するので、若い女性に限らず、年齢に関係なく女性が活躍できる社会が重要である。 ・多くの分野で女性の活躍を掲げているので、「女性の活躍」を柱として新設してはどうか。	・計画に反映 ・これまでの男女共同参画の取組・成果を基に、女性活躍を着実に進める趣旨から、「男女共同参画の促進」の柱を「男女共同参画・女性活躍の促進」とする。
3	杉本委員	市民が 主役の まちづ くり	【市-1-2 男女共同参画社会の形成】 ・男女共同参画の促進に関して、町内会の立場としても賛成である。もっと多くの女性から町内会の役員として活躍してもらいたい。	・仕事に限らず、様々な分野で女性活躍を促進する。
4	中條委員 ※意見提出シート	市民が 主役の まちづ くり	【市-1-2 男女共同参画社会の形成】 ①女性が活躍するためには、女性への働きかけやエンパワメント、学習機会の確保が重要。「女性の活躍推進」の中にそれは含まれているか。 ②女性が活躍するためには、男女ともに働き方改革が必要。分野横断の政策分野である「市民が主役のまちづくり」の中に「男女ともに働き方改革の推進」を掲げてはどうか。	①男女共同参画推進センターの出前講座等によるほか、関係団体との連携による取組を検討していく。 ②計画に反映 ・働き方改革等によるワークライフバランスの推進については、産業分野とともに、上記「男女共同参画・女性活躍の促進」の柱の中にも記載する。
5	中村委員	市民が 主役の まちづ くり	【市-2-1 まちづくりの人材育成・確保】 ・骨子の「定住促進・UIJターン者の増加」の表現は曖昧に感じる。 ・移住者の定着が大切であるので、移住前に地域住民と交流したり、試しに居住したりできる環境や、移住者の先輩でUIJターンに熱心な人と交流する環境づくりが必要である。	・事業の中で対応を検討
6	中條委員 ※意見提出シート	市民が 主役の まちづ くり	【市-2-1 まちづくりの人材育成・確保】 ・「性別にとらわれずに」といった表現を入れたほうが良い。「例：高齢者や若者、障害のある人、外国人の一人ひとりの能力が活かされ、性別にとらわれずに活躍できる環境づくりを推進」 ・男性も女性も共に、家庭も地域も労働も担っていくことが「人口減少・少子高齢化の進行を要因とした課題への対応」には必要。	・「高齢者」や「若者」とともに女性の活躍を一層推進するため、計画本文中に「女性」を加える。
7	土屋委員	防災・ 防犯 分野	【1-1-1 大規模災害への対応力の強化】 2 自然災害への対応力の強化 ・ハザードマップの更新・周知にとどまらず、避難訓練についても記載すべき。広島の高雨災害ではハザードマップはあっても避難が遅れて、多くの犠牲者が出ている。	・計画に反映 ・施策「1-2-2 地域防災力の維持・向上」において記載する。

No.	氏名	分野	意見の内容	対応
8	山縣委員	防災・防犯分野	<p>【1-1-1 大規模災害への対応力の強化】</p> <p>2 自然災害への対応力の強化</p> <p>①訓練に参加する住民は減っており、防災に関する知識を周知することが重要である。</p> <p>②他地域の調査では、ハザードマップは配布されていてもあまり認知されておらず、理解されていないとの結果もあるので、内容を理解してもらうことが重要となる。</p> <p>③避難から一歩進んで、復旧・復興対策について触れることも必要である。医療やボランティアとの連携など、災害発生後の対応強化もあると良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映 ①②：施策「1-2-2 地域防災力の維持・向上」において記載する。 ③：本施策に記載する。
9	松田委員 ※意見提出シート	防災・防犯分野	<p>【1-2-2 地域防災力の維持・向上】</p> <p>1 自主防災活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単に「対応強化」するだけでなく、発生しうる災害の見極めや、それに応じた訓練、情報周知などにも取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映
10	中村委員 ※意見提出シート	環境分野	<p>【2-2-1 地球温暖化対策の推進】</p> <p>1 再生可能エネルギーの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光のみの言及ではなく、木質バイオ発電も加えて「太陽光及び木質バイオ発電等の民間での普及」などとしてはどうか。木質バイオ発電に取り組むことは上越市内の森林資源活用になり、中山間地域振興にも資することになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映
11	平澤委員 ※意見提出シート	健康福祉分野	<p>【3-2-3 複合的な課題を抱える世帯への支援】</p> <p>2 自立へ向けた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校卒業生と高校生を対象とした相談支援の充実について、今後、単身化がさらに進むので、早い段階で介入し自立支援することはとても重要。 ・ニート・フリーター対策から始まった義務教育・高等教育からの若者の移行問題への対策に関して、ヨーロッパの研究動向、取組は参考になる。人口減社会において、この取組は重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映
12	高橋委員	産業・経済分野	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足については、少子化による要因と景気の変動による要因があるので、これらを混同するとポイントがぼけてしまう。 ・「職人」の表現は、ごく限られた業種がイメージされるが、建設業のオペレータ等の技能労働者も含まれると思うので、誤解を招かないよう、表現を慎重に選ぶべきである。 ・「外国人」の表現が多く使われるが、対象となる外国人は、観光客や就業者、定住者、人種差別における外国人など、それぞれ異なるので、対象が曖昧にならないようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映 ・各分野の施策における記載において、それぞれ、混同や誤解が生じないように留意する。
13	荒川委員	産業・経済分野	<ul style="list-style-type: none"> ・「就労ニーズ」に関して、職業を幅広い職種から選択できるよう、企業誘致や創業支援を進めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映 ・起業誘致や創業支援の推進について各施策に記載する。

No.	氏名	分野	意見の内容	対応
14	金子委員	産業・ 経済分野	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用については、景気に左右される部分が多い。大企業には応募はあるが、中小企業には全く応募がないケースも生じており、企業間でアンバランスが生じている。 ・行政の子育て支援は充実しているので、今後は企業による子育て支援が重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討 ・企業の子育て支援の充実に向けた取組を推進する。
15	宮下委員	産業・ 経済分野	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の中で大企業を誘致してほしいとの声があったが、市内では、中小企業から大企業に人手が吸収されている現実があり、大企業の誘致は良い面と悪い面がある。 ・女性の雇用に関して、最近はものづくりの現場でも女性の活躍が広がりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討
16	藤山委員 ※意見提出シート	農林水 産分野	<p>【5-1-1 農業の振興】</p> <p>1 生産基盤の強化</p> <p>①水稲複合経営を促進し、水田での園芸定着を図ることから、以下のような方向性も記述できないか。</p> <p>②排水対策（地表水及び地下水の早期排水）した園芸専用圃場とし、団地化と園芸施設（ハウス等）の併設により、一団の園芸地帯を整備する。</p>	<p>①計画に反映</p> <p>②団地化等は事業の中で対応を検討</p>
17	藤山委員 ※意見提出シート	農林水 産分野	<p>【5-1-1 農業の振興】</p> <p>3 所得の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者の園芸導入意欲が低く、水稲単一経営が多い。現状課題認識として以下のとおり。 ・土地利用型作物と労働集約型作物を複合経営する場合、同一オペレーターによる作業は競合し難しく経営上主と従の作物ができる。現状課題としては、「水稲農業者で園芸にウェイトを置く複合経営者はまだ少ない。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討
18	荒川委員	農林水 産分野	<p>【5-2-1 中山間地域の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の現状は厳しく、解決することも難しいので、きめ細かな施策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討
19	松川委員	農林水 産分野	<p>【5-2-1 中山間地域の振興】</p> <p>①中山間地域の位置づけを明確にし、その役割やメリットについての記載があると良い。</p> <p>②中山間地域に子育て環境を残すためにも、学校を残し、特色あるカリキュラムをいかして強みを出し、学校区を超えて県外等からも生徒を受け入れることが重要である。</p>	<p>①計画に反映：役割とメリットについて記載する。</p> <p>②事業の中で対応を検討</p>
20	杉本委員	農林水 産分野	<p>【5-2-1 中山間地域の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域について、同じ上越市内でも地域によって状況が全く異なる。その地域にあった施策が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討

No.	氏名	分野	意見の内容	対応
21	濱副会長	教育・文化分野	<p>【6-1-1 「知・徳・体」を育む学校教育の推進】</p> <p>2 特色ある学校教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市では家庭、地域、学校が連携した教育を進めており、家庭が一番大きな役割を担うため、子どもだけでなく、親の教育が重要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討
22	荒川委員	教育・文化分野	<p>【6-1-2 学校教育環境の整備】</p> <p>2 学校の適正配置・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合に関して、学校がなくなれば、地域のコミュニティがなくなるので、4年間に限らず、長いスパンで考えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映
23	大堀委員	教育・文化分野	<p>【6-1-2 学校教育環境の整備】</p> <p>2 学校の適正配置・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三和区では、保育園は1園だが、小学校は3校に分かれ、中学校は1校に戻る。小学校で3校に分かれる必要はないのでは、との声がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討
24	倉石委員	教育・文化分野	<p>【6-2-2 スポーツ活動の推進】</p> <p>1 スポーツ活動の普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動における健康増進の記載について、総合型地域スポーツクラブの取組を踏まえ、「地域や各種スポーツ団体の育成による健康スポーツ活動の推進」とすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映
25	小林委員	都市基盤分野	<p>【7-1-2 機能的・効率的な交通ネットワークの確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワークに関して、人口減少が進む中山間地域ではバスの利用者が減り、交通事業者の運営が難しくなると予想される。 ・公共交通に対する不安が大きいため、高齢者の免許証返納も進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討
26	土屋委員	その他	<p>①「まちづくり」の表現は、中心部の町を指している印象を受ける。「地域づくり」や「集落づくり」など、中山間地域にとっても相応しい表現を工夫できないか。</p> <p>②計画等の情報発信に関して、小・中学生でも、ホームページを見れば分かるように分かりやすく発信すべき。</p>	<p>①「まち」の表現は、主に全市的なエリアを対象とする場合に計画中で広く使用しているもの</p> <p>②事業の中で対応を検討</p>
27	山縣委員	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市は、中心市街地、中山間地域、平野部とで人口動態等のデータのギャップが大きいので、その差を地域ごとにデータで示せば、より課題を明確にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で対応を検討 ・計画の資料編に一部データを掲載
28	荻谷委員	その他	<p>少子高齢化や後継者不足は避けて通れないので、しっかり検討を進めていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に反映 ・事業の中で対応を検討